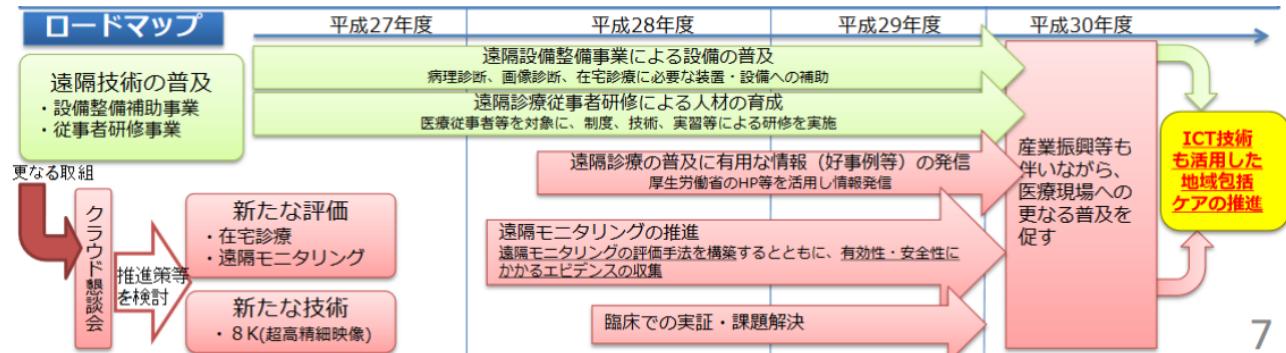


「Society5.0に向けた医療の実現について」に係る質問に対する  
厚生労働省からの回答

(平成29年10月2日 第3回 医療・介護ワーキング・グループ)

【質問】

「遠隔診療推進に向けた取組」の「ロードマップ」において、平成30年度の取組として「医療現場への更なる普及を促す」と記載している箇所は、どのようなエビデンスを把握し、どのような施策を通じて実現することを考えているか。



(出所：第3回 医療・介護WGの資料1－3 厚生労働省提出資料（P7）抜粋)

【回答】

平成28年度診療報酬改定においては、心臓ペースメーカーを使用している患者に対する遠隔モニタリングによる指導・管理について、最大11か月まで評価を行うこととした。

次期平成30年度診療報酬改定に向けては、対面診療と遠隔診療を適切に組み合わせることにより効果的・効率的な医療の提供に資するものについて、診療報酬上の評価の検討を行っている。

さらに、次回改定以降の診療報酬上の評価を目指して、平成30年度以降も情報通信機器を用いたモニタリングによる遠隔診療支援を目的とした治験につなげることを含む臨床研究を前提とした研究事業を実施予定としている。

(平成29年10月30日)

# 「社会保険診療報酬支払基金に関する見直しについて」に係る質問に対する厚生労働省及び支払基金からの回答※(平成29年10月2日 第3回 医療・介護ワーキング・グループ)

※「支払基金業務効率化・高度化計画・工程表」の各プロジェクト(事務局提出資料2-2 P3~5 ア~ナ)について、①責任者、②プロセス、③進捗状況、④今後の対応について書面回答するよう医療・介護WGは厚生労働省に求めた。

平成29年10月27日

支払基金業務効率化・高度化計画・工程表		プロジェクト責任者	進捗、今後の対応等		
		支払基金 担当部署(職位)	厚生労働省 担当部署(職位)		
(1) 審査支払新システムの構築	ア セキュリティ対策の強化	システム部(部長)	保険局保険課長	○プロジェクトを効率的に進めるために、厚生労働省(保険局)、支払基金、国保中央会の幹部による連絡会議を去る9月6日に立ち上げ、さらに実務レベルでの調整を行う体制を整備	
	イ 審査支払新システムの構築				
	ウ 業務プロセス全体の棚卸し				
(2) 審査手数料の設定の在り方の見直し	エ 判断が明らかなレセプト手数料の検討	経営企画部(部長)	保険局保険課長	○システム開発について、上記3者に政府CIO(IT総合戦略室)を交えた協議の場を10月3日付けで立ち上げ、当面は仕様書の作成に向けて集中的に調整を行う場を設置	
(3) コンピュータチェックに適したレセプト様式の見直し等	オ コメント選択方式の導入	審査企画部(部長)	保険局医療課長		
	カ コンピュータチェックに適したレセプト様式見直し (病名コードの国際的な規格を使用しやすい仕組みの検討)				
(4) コンピュータチェックルールの公開	キ コンピュータチェックルール公開基準の策定	審査企画部(部長)	保険局保険課長	○レセプト様式・コード体系等の見直しについては、中央社会保険医療協議会において、検討中	
	ク コンピュータチェック公開後の定期的な検証				
(5) 返戻査定理由の明確化	ケ 返戻査定理由を記載する対象レセプトの拡大、記載内容の充実 (自動で査定返戻理由を記載する仕組みの検討)	審査企画部(部長)	保険局保険課長		
(6) 請求前の段階でレセプトのエラーを修正する仕組みの導入	コ 請求前にエラーを修正する範囲の検討 (ASPや医療機関へチェックロジックを導入する方式を検討)	システム部(部長)	保険局保険課長	○モジュール化に向けたシステム刷新については、規制改革推進会議の答申と7月4日に公表した支払基金業務効率化・高度化計画・工程表を踏まえ、受付・審査・支払のそれぞれの業務単位での「モジュール化」を基本として、支払基金において、次期審査支払システムイメージを作成し、各業務単位の要件の概要を策定	
(7) 既存のコンピュータチェックルールの見直し	サ 高額注意付せんを一旦試行的に中止、効果検証、廃止等を決定	審査企画部 電子レセプト審査支援室(室長)	保険局保険課長		
	シ 各支部で設定されているコンピュータチェックルールの取扱い基準を策定				
(8) 統一的なコンピュータチェックルールの設定	ス 診療報酬点数に係る審査基準の明確化の検討・実施	審査企画部(部長)	保険局医療課長	○次期審査支払システムイメージ及び各業務単位の要件の概要を詳細化した上で、平成29年12月までに、調達仕様書を作成し、併せて、開発体制についても、整備する予定	
(9) 審査基準の統一化	セ 医学的判断が一定の巾に収まるもの等について統一的コンピュータチェック導入の推進 (審査の一般的な取扱い公表の一層の促進)	審査企画部(部長)	保険局保険課長		
(10) 自動的なレポーティング機能の導入	ソ 自動的なレポーティング機能の導入 (差異事例の徹底した見える化、コンピュータチェック基準の明確化と継続的に見直す仕組み)	システム部(部長)	保険局保険課長		
(11) 審査委員会の在り方の見直し	-	審査企画部(部長)	保険局保険課長	○平成30年以降はシステムの基本設計・開発及び総合試験等を予定	
(12) 審査委員の利益相反の禁止	タ 利益相反の禁止に係る事項について支払基金の内規文書で厳格化・明文化				
	チ 審査決定に関し、判断を中立な立場にある公益委員に委ねる仕組みの実施				
(13) 本部審査の拡大等	ツ 本部審査拡大等の検討	審査企画部(部長)	保険局保険課長		
(14) 支部組織の見直し	テ 審査事務集約に伴う課題を把握するため、モデル支部における実証テストを実施	総務部(部長)	保険局保険課長		
(15) 業務棚卸し等による効率化の推進	ト 入力・点検業務のシステム対応・外部委託化の推進、オンライン請求の促進 (審査業務の平準化及び支払処理の柔軟化の検討)	事業統括部(部長)	保険局保険課長	○システムの各検討段階において、次期審査支払システム開発の方向性や方針等を含め、政府CIOと連携を図り、システム開発に取組	
(16) 支払基金の人員体制のスリム化と高度化	ナ 組織・人員を集約する方向で取組む (職員に直接雇用する常勤医師等の医療専門職等の活用拡大)	総務部(部長)	保険局保険課長		